

2020/11/28-2

(うと Q 世話し SNS 未掲載、同日記事変形版 漂流する「私の履歴書」)

この世での生が成功にせよ、失敗にせよ、或いは又どちらでもなかったにせよ終わった後に、もし仮にどこかの惑星で生まれ変わったとしたら、一から又やり直す事になる訳ですが、ではその時どういう concept で生きようかなあ？と最近考える事が増えました。

「今うっすらと持っている concept の内、例えば文化も文字も自分の姿形も上下左右、東西南北、現在過去未来の時間概念すら異なる様な惑星に生まれ変わったとしても、そこにおいてすら通用するものは何だろうか？」

と、一から又、考え直すのが億劫で面倒臭がりの自分はそう考えた訳です。

そうして見つかったのが

「したい事をする」「全力を尽くす」そして「ダメだったらやり直せばいい。何度でもやり直せばいい。それで、どこまで行けるか分からないが、兎に角行ける処までは行ってみよう(よ)」

の三つ。

後、強いて言えば「人事を尽くして天命を待つ」でしょうか。「果報は寝て待て」「待てば海路の日和あり」で。

その前、もし会社を滅になったら、もし家も失ったら、もし家族を失う羽目になっても、それでも自分は又「もう一回やろう」と思える何かを持っているだろうか？と、最後に在籍した会社崩壊寸前の際に思った答えが

「アタマとこころと身体をフルに回せればそれだけで十分。後はみんなオマケのバブル。だからその三つを満遍なく回す事だけを考えよう」

というものだった事を思い出しました。

そうして、それから遡る事以前、うつ病回復期に思ったのが

「背伸びをせず地に足をつけて身の丈になる」「自分の事はもううんざりだから人の事で働く」「相手の話を聞く耳を持つ」

の三つでした。

それというのも、自分のうつ病というのは「自分は大した人間である筈だ」と背伸びをし、それに届かない自分との差に苦しんだ。結果、自分にばかり目が行って、外の刺激が何も入らなかった。なんの事はない、蛇が自分の尻尾を追いかけてぐるぐると同じ処を回っていたに過ぎない事に気が付いたからです。それで自分以外、ひと様や外界に目を向けたくなくなった。自分にうんざりして。

その第一歩が「まず人の話を聞くこと。自分の話をする前に人に話を差し向ける事」でした。ですが、今はこの最後の一項目が全然できなくなっている問題が生じ、振り出しに戻ってしまいました。

さて今コロナ禍、巡り巡って又振り出しのわが履歴書。

悩ましいばかりで御座います。